

相談窓口

ダイバーシティ推進室（D&I相談窓口）

D&Iに関わる制度や仕組みについての相談や、どこに相談したらよいかわからない場合の相談を受け、“コンシェルジュ”的な役割も担います。また、学内外にはさまざまな相談窓口があります。



バリアフリー支援室



留学生センター



保健管理センター



学生支援センター（なんでも相談窓口）



参考

ダイバーシティ&インクルージョン
推進に向けてのガイドライン（全文）



香川大学 D&I 推進宣言・基本方針



ユニバーサルデザインマップ



香川大学

ダイバーシティ推進室

Office for the Promotion of Diversity

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 北5号館1階

tel/ 087-832-1055（内線1055）

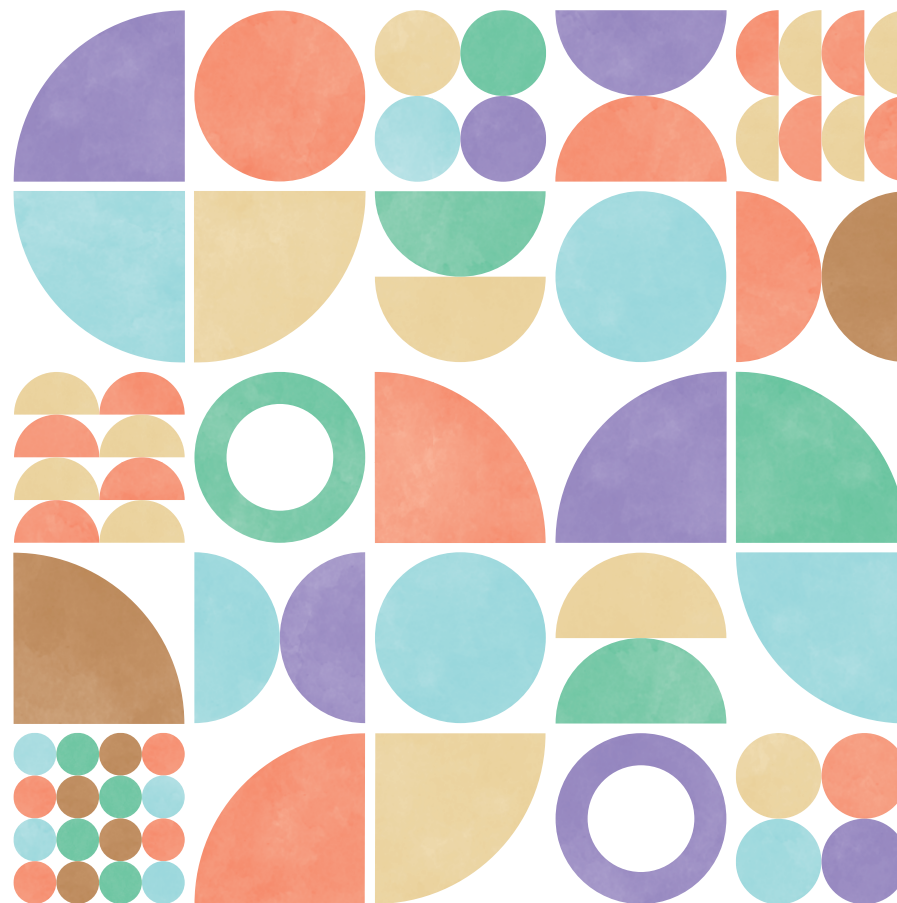
mail/ diversity-i-h@kagawa-u.ac.jp



2026年4月改訂

Guidelines for Promoting Diversity & Inclusion

ダイバーシティ&インクルージョン推進に向けてのガイドライン



香川大学は、構成員一人ひとりの多様な個性や価値観、考え方を等しく尊重し、活躍できる D&I（ダイバーシティ&インクルージョン）を推進するため、「D&I 推進の基本方針」を策定し、男女共同参画、性の多様性の尊重、障害者支援、多文化共生の4分野のガイドラインを定めました。様々なバックグラウンドを有する構成員が安心・安全に学び、研究し、働くことのできる環境整備をめざしています。

D&Iとは？

D **ダイバーシティ**は、多様性を意味し、性別、性的指向・性自認、人種、国籍、民族、障害、年齢、宗教、言語、ライフスタイルなど幅広いものを含みます。

I **インクルージョン**は、包摂を意味し、個の違いを互いに尊重し、認め合い、連携・協働して、誰もが安心して活躍できる状態をいいます。

男女共同参画

地域との協働・連携、情報発信

女子学生、女性研究者、女性教職員へのキャリア形成支援

ワークライフバランスの実現

男女共同参画の阻害要因除去とハラスメントの禁止

校内での定期的なアンケートやヒアリング結果をもとに、男女共同参画の阻害要因を分析し、それを取り除くための具体的な施策立案を実施します。「国立大学法人香川大学ハラスメント及び性暴力等防止規則」の周知に努め、ハラスメントに関する教育・研修を強化し、相談体制の充実を図ります。



障害者支援

「不当な差別的取扱い」の禁止

「不当な差別的取扱い」に該当する行為については、個別の事案ごとに判断されることになります。例えば、正当な理由が存在しないにも関わらず「障害があることを理由に授業の受講、研究指導、実習、研修、フィールドワーク等への参加を拒否する」、「試験等において、合理的配慮を受けたことを理由に評価に差をつける」等の対応をすることは、「差別的取扱い」にあたります。

合理的配慮の提供

「合理的配慮」とは、障害者等の利用を想定して事前に行われる建築物のバリアフリー化、必要な人材の配置、情報アクセシビリティの向上等の環境整備を基礎として、個々の障害者に対して、その状況に応じて個別に実施される対応のことです。

具体例としては、「移動に困難がある学生等のために、普段よく利用する教室に近い位置に駐車場を確保する、使用する教室をアクセスしやすい場所に変更する」等が挙げられます。

理解促進

教職員や学生等に対し、障害について理解を深めるため、研修および啓発活動を行います。さらに、障害のある学生を支援するピア・サポーターを養成するための研修を行います。



ピア・サポーターとは

大学においては、「学生による学生支援活動」の意味で用いられます。活動例としては、「車椅子の移動支援」、「ノートテイク（授業受講中の支援）」、「キャンパス内のバリアフリーの点検活動」などがあります。

香川大学の取り組み

性の多様性の尊重

個人情報保護の徹底

通称名や自認する性別の使用

通称名および戸籍とは異なる自認する性別の使用を希望する場合は所定の手続きによって変更ができます。



証明書等の性別の記載

性別が記載されることになっていても、申し出により性別を記載せずに発行することができる場合もあります。また、各種文書において、原則として不要な性別欄を削除するよう周知を図っています。

授業

性自認や性的指向等を理由に、学生が排除されたり、尊厳を傷つけられたりすることのないように配慮します。授業における呼称等は、要望に沿ったものとし、男女で呼称を使い分けなことを推奨し、性別を基準とした不必要なグループ分けをしないよう周知を図ります。また、体育実技や学外実習においては、個別対応を行います。

異文化理解と地域の国際交流

異文化理解・多文化共生を主題にした授業科目を各学部に開設しており、海外協定校留学・国際インターンシップ等の海外研修制度もあります。また、地域のステークホルダーと大学が連携して行うグローバル教育プログラムも実施しています。国際ナショナルオフィス所属グローバル・カフェでは、多言語学習・異文化交流の機会を提供し、教職員・学生及び地域の国際交流を推進しています。



各キャンパスに多目的室を設置しており、礼拝などに使用することが可能です。詳細は国際ナショナルオフィス又は各学部事務室までお問い合わせください。

施設の整備

多目的トイレを「ALL GENDERトイレ」としても利用しやすいように、右記のようなサインをつけています。また、更衣室などの表示やマップ等の改善および使いやすい整備を進めます。



性の多様性を尊重するために知っておきたいこと

LGBTQ Lesbian, Gay, Bisexual, Transgender, Queer/Questioning の頭文字をとったもの。性的マイノリティの総称として用いられることもあります。

SOGI Sexual Orientation (性的指向)、Gender Identity (性自認) の頭文字をとったもので、誰もがかわる包括的な概念です。

アウトティング 性自認・性的指向について本人の了解を得ずに暴露することをいい、パワー・ハラスメントに該当します。また、性自認・性的指向に関する偏見に基づく言動は、セクシュアル・ハラスメントにも該当します。

日本語を第一言語としない教職員および学生への支援

構成員の言語ニーズを踏まえた校内周知を実施しています。留学生には、生活面を支援するためのサポーター、学習・研究面での支援及び日本語指導等を行うチューターを配置しています。国際寮には、レジデンスチューターを配置し、留学生の生活支援、緊急時における対応及び、入居者間の交流促進に関する支援を行っています。

多文化共生